

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 稲城市立若葉台小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 206-0824
稲城市若葉台4-5

E-mail : inewaka88educet.plala.or.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 481名 女子 403名 合計 884名
 児童・生徒の年齢 歳～ 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

活動の説明文（人とのかわりかわりがあるような文章。許可が得られればゲストティーチャーの名前も）

1年

2年

単元名：伝えよう！すてきな若葉台

若葉台の商業施設（スーパー、電気店）、若葉台駅、アイプラザ、郵便局の見学・インタビューを通して、自分たちの生活は、地域の人々や様々な場所と関わりをもっていることを知り、若葉台のよさや、人々のよさに気付く生活科の学習です。保護者の協力のもと、若葉台にたくさんある公園のよさについても考えました。児童が日ごろ、施設を利用して、疑問に思ったことをインタビューしたり、施設を見学したりする中で、自分たちと地域のつながりについて考えることができました。（つながりを尊重する態度）。また、劇、クイズなど、子供たちが考えた表現方法で、保護者や1年生に若葉台の素敵などころについて、伝えることができました。（コミュニケーションを行う力）

3年

4年

単元名：だれもが関わり合えるように

誰もが差別をされずに幸せに暮らせるようになるには、私たちに何ができるのか、調べたり話し合ったりして考えました。稲城市六点的会の方たちにはわざわざ来ていただき、実際に点字や白杖体験をさせていただきました。体験を通して、身体に不自由がある方たちの苦勞と、どのようにサポートしていけばよいのか知ることができ、良い経験になりました。

5年

単元名：お米のひみつを探ろう（バケツ稲を育てよう）

農家の伊藤さんやJAの青木さんにアドバイスをいただきながら、お米づくりや、お米についての調べ学習をしました。子供たちは苗の植え方やわら細工の作り方について、伊藤さんや青木さんにそばで教えていただいたり、本では分からなかった疑問点を質問させていただいたりしました。実際に農家の方やJAの方と交流したことで、年齢や立場が自分たちと異なる方とコミュニケーションを行う力に成長がみられました（コミュニケーションを行う力）。また、食料生産に携わる人々の苦勞や工夫、願いに気付いたことで、子供たちは生産者に感謝の気持ちを持ち、他者との関わりをもっと大切にしようと考えました（人とつながりを尊重する態度）。

6年

単元名：「自分を見つめて～夢の設計図をかこう～

卒業・将来に向けて」

ラジオの放送作家や美術史家、市議会議員など様々な職業の方から、仕事のやりがいや働くうえで大切にしていることなど、貴重なお話を伺いました。ゲストティーチャーの方々から様々なお話を伺ったことで、子供たちは、仕事について前よりも、様々な視点から考えるようになりました。ゲストティーチャーの方々から伺ったことを生かして、自分の夢の設計図（ドリームマップ）を考え、まとめました。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（

）